

宝が池エリア ニュースレター

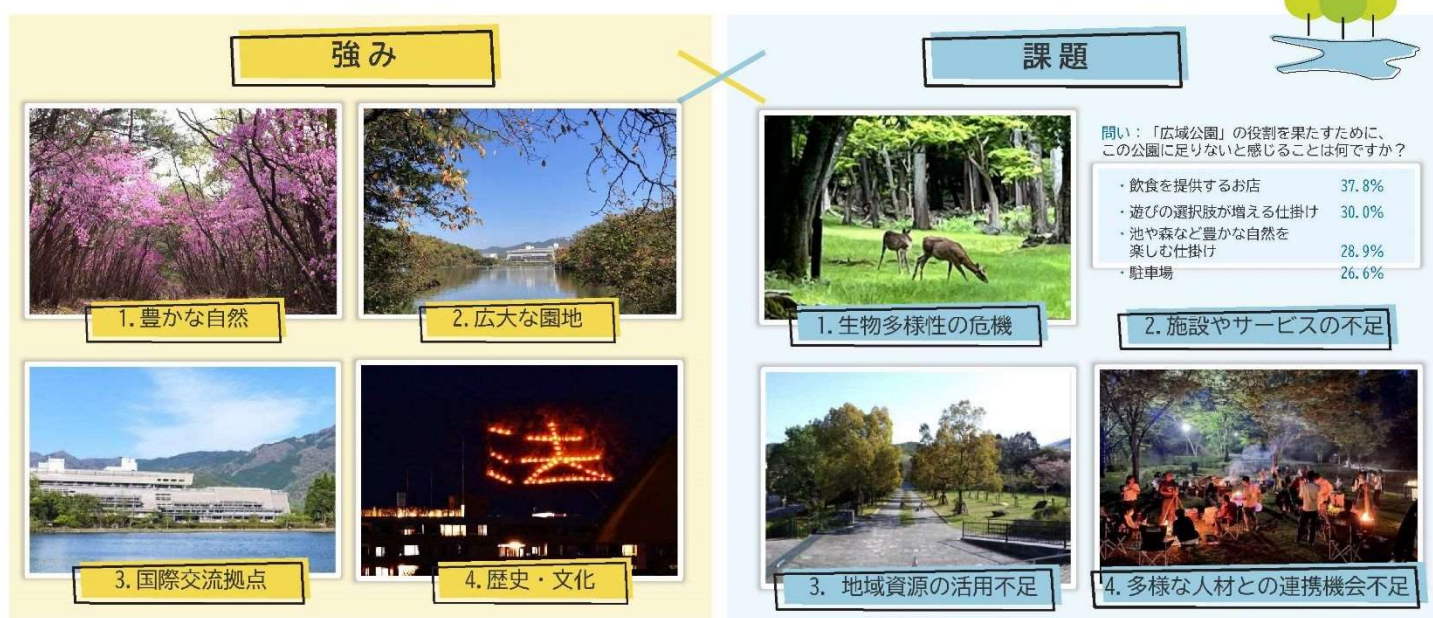
vol. 01

2023.4

宝が池公園を起点に、地域課題の解決へ。新しい対話・連携の場をつくります！

宝が池には強みがある一方で、課題もあります。その課題解決に向けて、地域の皆様をはじめ宝が池に関わる様々な立場の方が集まり、互いを理解し合いながら未来像を共有し、宝が池公園を起点にしてより良い宝が池エリアにしていくために...

「宝が池エリア未来共創まちづくり会議（仮称）」を創設します！



みんなの知恵を結集し、強みを活かして課題を解決

豊かな暮らしができる、住み続けたいまちへ！

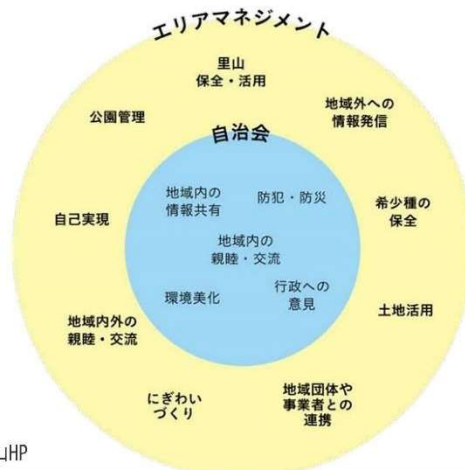
事例紹介：東京都稲城市「エリアマネジメント南山」ではこんな取組が行われています！

地域の緑をともに守り育て、持続可能なコミュニティの醸成と緑と関わりあう街を目指して、地域住民や事業者、NPOなど関係団体が協働。土地活用事業や地域交流・里山再生・環境共生のためのイベント、住民参加による公園づくりと維持管理・運営等を展開



里山での
芋掘り体験

ハロウィンイベント



出典）一般社団法人エリアマネジメント南山HP

宝が池公園を起点にしたまちづくりの可能性

1

宝が池らしい公園にするため 管理運営のあり方を見直す

保全再生の視点と利活用の視点により
唯一無二の地域の「宝」となる場へ



未来の公園の見本市
「…だから、宝が池。」の開催／宝が池公園

2

ゲストからキャストへ

様々な立場の方が関われるきっかけがあり、
自己実現や交流が促進される場に



「モバイル屋台」を活用した交流空間の創出
／竹間公園

3

社会課題の解決

広大な園地を活用し、環境問題や子育て、
健康づくり、福祉などの社会課題の解決の場に



森の保全再生の取組への参画者増／宝が池公園

4

定住人口と交流人口に加えて「関係人口」をつくる

地域住民だけで地域を支えるのではなく広域公園と
いう強みを活かして多様な主体が継続的に地域に
関わることで様々な知恵や行動を結集



140人以上が参画する公園コミュニティ／宝が池公園

宝が池エリア未来共創まちづくり会議（仮称）とは

● 目的

宝が池に関わる皆様と一緒に、公園と周辺エリアの将来像を検討し、
実践を通して地域の魅力を引き出し、より豊かなまちづくりにつなげるための会議です。

● 参加者

宝が池公園とその周辺エリアに活動されている方、居住されている方、
会議が招く方など

● 内容

- ① 公園の保全や利活用に関する 意見交換、合意形成
 - ② 公園とその周辺エリアの将来像（未来ビジョン）の検討
 - ③ 運営についての仕組みの協議
- その他、各活動内容の情報共有、必要と思われる事項



宝が池エリア未来共創まちづくり会議(仮称)準備会の開催報告

自治組織の皆様、「宝が池の森」保全再生協議会、金融機関、地域企業、国立京都国際会館、公園管理者など、宝が池に関わるたくさんの方が一堂に会し、宝が池の歴史やこれまでの関わり方、そして未来に対する熱い想いを共有しました。

R5/3/21 (火・祝)
16時~19時
@京都国際会館

地域の人々の思い

宝が池は里山が残る唯一の場所であり、地域の憩いの場であることを大切にしたい

方向性は素晴らしいので、地域の声を反映できる仕組み作りを

宝が池公園の現状

この30年で森のポテンシャルは大幅に低下

生態系の変化により山崩れのリスクも増加

公園管理には多様な人々の連携が不可欠



利活用について

公園を地域活動の場としても使いたい

宝が池エリアの原風景を守り子どもたちに繋げたい

身近な自然を活かして医療・福祉面での連携も期待！

イベントを自然を取り戻す活動につなげることが必要

まずはみんなで基本原則を「憲章」として形作っては

今後の取組について

まずは自分事として公園に関心を持ってもらおう

公園で人が繋がりが住みやすいまちをつくろう

これから公園を使う子供たちも含めて、宝が池に関わる人を増やしていこう

必要なのは「制限」ではなく「許す」こと。そのためのアイデアを出し合おう

みんなで思いを分かち合うことから始めよう

様々な意見がありましたが、宝が池エリアを良くしたいという思いは皆さん同じ。誰も意見を否定せず、互いを理解し、方向性を共有できた日となりました。



今後、「宝が池公園」を地域におけるまちづくりの核として、様々な立場の方が知恵を出し合いながら、より魅力的な宝が池エリアとなるための仕組みづくりを行っていきます！

宝が池で何ができるかな？ そうだ、行ってみよう！！

ボウケンノモリ

体験する

事前申込：不要 ※ 荒天時中止

日時 令和5年5月20日（土）、21日（日）、
27日（土）、28日（日）
各日10時～17時（最終受付：16時半）

場所 宝が池公園（野鳥の森）

公園の森林空間を活用し、自然の地形や
立ち木を活かした樹上のアスレチックや
トランポリンの設置など、子どもから大人まで
楽しめるアウトドア体験を期間限定で実施！
収益の一部は公園の運営費に還元されます。

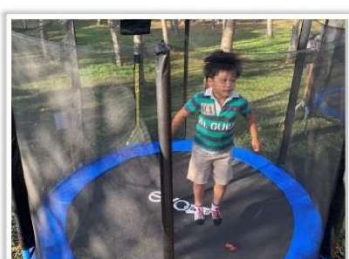
① ミニアスレチック

（ポータブルアスレチック＋樹上のアスレチック）



料金：700円／1周、2周目以降500円／1周
参加制限：5才以上、
ハーネス着用のため身長110cm以上

② トランポリン



料金：300円／5分
参加制限：3才以上

まったく頑張らない／

③ フィットネス体験会



内容：高精度筋量計による計測（データプレゼント）
＋専門家による運動・生活指導
＋ミニアスレチックコース1周

料金：1,000円／人
参加制限：12才以上

宝が池連続学習会

学ぶ



詳細・申込は
こちらから



「森をしらべる・森をそだてる・森をつたえる」を
コンセプトに、フィールドワークと座学で
宝が池について学ぶ全6回の実践的講座！

主催：（公財）京都市都市緑化協会及び
「宝が池の森」保全再生協議会

交流会 「…だから、宝が池。」

繋がる

実施にむけて、鋭意、準備中！！



誰かと繋がりたい、自分の大事にしていることを伝えたい、
公園でこんなことしたい…。そんな思いがある方もない方も
大歓迎！宝が池ゆかりの方の話を聞き、宝が池に思いを馳せ
ながら、皆でゆったりと集い、交流しましょう！
実施内容はFacebook（左下）にて、近日公開予定です。

主催：京都市建設局みどり政策推進室

SNS



Facebook



Instagram



YouTube



だから宝が池
デジタルブック

今後の取組はこちらをチェック！

問い合わせ先

発行元：京都市建設局 みどり政策推進室
TEL：075-222-4113 FAX：075-212-8704
mail：ryokusei@city.kyoto.lg.jp
京都市印刷物 第054100号（令和5年4月発行）





宝が池公園をもっと好きになる！！ 公園の魅力アップに向けて、対話・連携の場をつくります！

宝が池公園をこれまで以上に魅力いっぱいの公園へ、そして、周辺地域の活性化へとつなげていくために…。

第2回 宝が池みらい共創会議(仮称)準備会の開催報告

地域の自治会、活動団体、企業などをはじめ、宝が池公園に関わるたくさんの方々が集い、宝が池公園の魅力再発見し、将来、公園がどんな場所になってほしいかを考えるワークショップを行いました！

たくさんの様々な意見が出ましたが、全てに共通するものは…、

「宝が池公園をもっと魅力的な場所にしたい！！」という熱い思い。



改めて宝が池公園の魅力について考えることで、宝が池公園の大切さに気がついた。



この地域だけでも魅力的なアイデアをたくさん持っている方がおられるとわかり、とてもワクワクした！

参加者の感想

肩ひじ張らず、ざっくばらんに話し合いやすかった。



地域で活動している人を紹介したい！



宝が池みらい共創会議(仮称)とは

● 目的

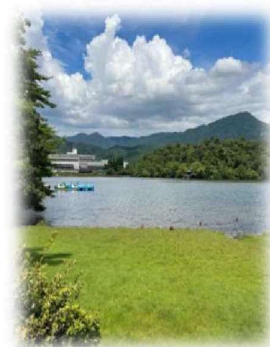
宝が池公園に関わる皆様の積極的な参画及び公民連携のもと、公園の将来像を共有するとともに、その実現に向けた取組を実践することにより、持続可能で魅力ある公園づくり、ひいては周辺地域の活性化へとつなげていくことを目的とする会議です。

● 参加者

宝が池公園とその周辺エリアで活動されている方、居住されている方、会議が招く方など。

● 内容

- ① 公園の保全再生や利活用に関する意見交換、合意形成
- ② 公園の将来像(未来ビジョン)の検討
- ③ 運営についての仕組みの協議
- ④ その他、各活動内容の情報共有、必要と思われる事項



第2回 宝が池みらい共創会議(仮称)準備会で話し合われたこと

話 題 1 宝が池公園の魅力を発見！

宝が池公園の過去から現在までの魅力や好きなところ、思い出を共有しました。

自然と文化

- ・水辺がある ・市内随一の規模
- ・多くの動植物が生息 ・妙法
- ・まちなかから地下鉄1本で森へ

リラックス

- ・季節によって移ろう景色
- ・比叡山がキレイ
- ・そこはかたない昭和感

楽しい場所

- ・子どもが遊べるスポットがいっぱい!!
- ・都市型マウンテン
- ・魅力的なジョギングコース

話 題 2 宝が池公園で将来行いたい活動は？

将来、宝が池公園はどのような場所になっていると良いかを想像しました。

身近な利用の場

- ・散歩
- ・ハイキング
- ・ヨガ



自然の保全や再生に携わる場

- ・質の高いレジャー体験
- ・ジビエ料理
- ・木を伐って明るい森にして、伐採した木で焚火をする



自然の中で学び楽しむ場

- ・BBQやキャンプ
- ・SUP
- ・焚火
- ・展望台
- ・ジップライン
- ・星空観察



イベントを通じた交流の場

- ・朝市・夜市
- ・花火
- ・芸術系野外イベント
- ・映画観賞会



楽しい公園づくりに取り組む人が集まる場

- ・案内所など拠点
- ・利用者が集まってのんびりできる場所
- ・自然のものを使った商品開発



令和5年度の予定(案)

色んな可能性がある宝が池公園。多様な立場の方が知恵を出し合い、より魅力的な将来像を描いていきます！
公園の魅力と課題を踏まえた未来ビジョン（将来像やその実現に向けた取組の方向性など）の作成・共有を目指します。

イベント開催案内

第4回 宝が池連続学習会

学ぶ



日 時： 令和5年10月29日(日) 10時～15時30分

テーマ：『「自然共生サイト」ってなんだろう？』
～生物多様性における緑地の役割と可能性～ ※タイトル等変更の場合があります

「森をしらべる・森をそだてる・森をつたえる」をコンセプトに、
フィールドワークと座学で宝が池について学が全6回の実践的講座！
* もちろん、今回のみの参加も大歓迎！

主 催：(公財)京都市都市緑化協会及び「宝が池の森」保全再生協議会

京都市都市緑化協会 イベント

検索 🔍

詳細・申込はこちら▶



SNS



Facebook



Instagram



YouTube



だから宝が池
デジタルブック

今後の取組はこちらをチェック！

問い合わせ先

発行元：京都市建設局 みどり政策推進室
TEL：075-222-4113 FAX：075-212-8704
mail：ryokusei@city.kyoto.lg.jp
京都市印刷局 第054502号（令和5年9月発行）

京都市
CITY OF KYOTO

宝が池 ニュースレター

vol. 03
2024.1

宝が池みらい共創会議が正式に発足！！

これまでの準備会での取組みを踏まえ、正式に「宝が池みらい共創会議」が発足しました。

宝が池公園をさらに創造的で魅力ある場所として未来に繋いでいくために、公園に関わる皆様の対話・連携の場にしていきます！

第1回 宝が池みらい共創会議の開催報告

2023/11/17(金)
18時～20時
@左京区役所

2024年、宝が池公園は開園60周年を迎えます。

このきっかけから、今芽生えた木々が、新たな森になる。これから60年先の宝が池公園に想いを馳せると…私たち自身の暮らし・生活だけでなく、もっと先の未来を想像しながら「これからの宝が池公園とこの地域への向き合い方」を話し合いたくなる！そこで、今回の会議では『自分の孫が、理想の暮らしを実現するための宝が池公園のあり方・大切にしたいこと』を考えるワークショップを行いました。

宝が池公園がこれからの世代にとっても
素敵な場所であり続けるために…

ワークショップの視点

公園、地域、自然環境、
次世代のこと…
様々な観点から考える
“未来”とは

60年後も変わらずに
大事にしていきたい
ことって何だろう

100年前の人たちが「空飛ぶクルマ」を想像できなかったように、想像以上の未来は必ずやってくる！
今を生きる私たちが、クリエイティブな未来を面白く描くことで、それを実現できる！

宝が池みらい共創会議とは

● 目的

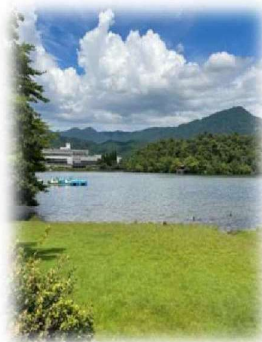
宝が池公園に関わる皆様の積極的な参画及び公民連携のもと、公園の将来像を共有するとともに、その実現に向けた取組を実践することにより、持続可能で魅力ある公園づくり、ひいては周辺地域の活性化へとつなげていくことを目的とする会議です。

● 参加者

宝が池公園とその周辺地域で活動されている方、居住されている方、会議が招く方など。

● 内容

- ① 公園の保全再生や利活用に関する意見交換、合意形成
- ② 公園の将来像（未来ビジョン）の検討
- ③ 運営についての仕組みの協議
- ④ その他、各活動内容の情報共有、必要と思われる事項



第1回 宝が池みらい共創会議で話し合われたこと

『自分の孫が、理想の暮らしを実現するための宝が池公園のあり方・大切にしたいこと』をテーマに、ワークショップでアイデアを出し合いました。その主な内容をお知らせします。

01

人と繋がれる場所



- ・まちの銭湯や居酒屋のようななじみの場所に
- ・気軽にご近所とつながれる場所に
- ・温まるほっこりする場に
- ・長い付き合いができる関係性を

02

多様な生態系を守る



- ・生物多様性を引き継いでいく
- ・適材適所な環境がある宝が池に
- ・裸足で歩けるようなふかふか土壌の宝が池に

03

チャレンジを受け止めてくれる場所



- ・大人も子どもも挑戦できる
- ・伝統や昔と変わらない宝が池の姿を継承する
- ・自然には人間の活動を受け止めてくれる器がある

04

おきてを持って行動する



- ・自由な活動によって学んだことが次の活動に活かされる
- ・「山の神」のもとで良心に従って活動する
- ・宝が池エリアで暮らせば、創意工夫次第で色んなことができる…！と思われるまちに

令和5年度の予定(案)

次回の第2回宝が池みらい共創会議は、令和6年2月に開催予定です。

今回のワークショップの結果をもとに、宝が池公園のビジョン（基本方針、会議で出た意見のまとめ）などについて話し合います。

おそとチャレンジ 令和6年3月終了!!

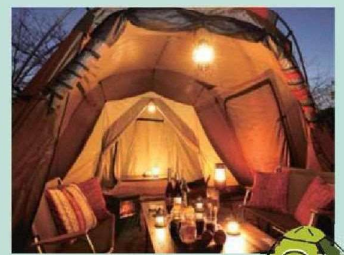
「公民連携 公園利活用トライアル事業」（通称：おそとチャレンジ）※は、令和6年3月31日をもって終了します。宝が池ならではの魅力を活かした期間限定の公園イベントを是非ご体験ください！

※地域と民間企業、行政と一緒に公園の新しい使い方を考え、通常のルールではできない柔軟な利活用にチャレンジする社会実験

【令和6年3月まで実施中!!】

- ・グランピング&カフェバー@北園
- ・移動型店舗（キッチンカー）@子どもの楽園※
※大人（中学生以上）だけの入園はできません

詳細・申込は
こちらから▶



この取組を通して、来園者アンケートで柔軟な公園の利活用に賛同をいただくなどの成果があった一方、多様な人材の連携機会が十分でないといった課題も見えてきました。これらを踏まえながら、今後は宝が池みらい共創会議を中心に、今まで以上に魅力のある公園づくりについて話し合い、取組んでいきます。

SNS



Facebook



Instagram



YouTube



だから宝が池
デジタルブック

今後の取組はこちらをチェック！

問い合わせ先

発行元：京都市建設局 みどり政策推進室
TEL：075-222-4113 FAX：075-212-8704
mail：ryokusei@city.kyoto.lg.jp
京都市印刷物 第054819号（令和6年1月発行）

